

平成29年度第1回（社会福祉学・社会学・教育学・統計学・体育学）分野グループ合同会議議事概要
社会福祉学教育FD/ICT活用研究委員会
CCC（社会学・教育学・統計学・体育学）グループ運営委員会

- I. 日時 : 平成29年9月11日（月）13:30～15:30
II. 場所 : 私学会館（アルカディア市ヶ谷）7階 琴平
III. 出席者 : 社会福祉学教育FD/ICT活用研究委員会 山路委員長、戸塚委員、天野アドバイザー
CCC社会学グループ運営委員会 干川委員
CCC教育学グループ運営委員会 舟生委員、三尾委員
CCC統計学グループ運営委員会 渡辺委員、今泉委員
CCC体育学グループ運営委員会 來田委員、田附委員
事務局 井端事務局長、森下主幹、中村事務局員

IV. 委員紹介

本年度から加わった体育学はじめ、5分野の出席委員から自己紹介が行われた。

VI. 報告・検討の概要

1. 事務局より、昨年度報告及び今年度の対話集会開催計画案の進め方について以下の報告説明を行った。

(1) 平成28年度の事業報告

平成28年度は、30分野を7グループに編成し複数分野が連携する対話集会を目指し、分野が連携する中で知識を組み合わせ新しい発想を育成する分野横断型のアクティブ・ラーニングの必要性を提案したが、否定的な意見はないものの参加者の多くは個別授業でのアクティブ・ラーニングに留まっており、分野横断型の学びの仕組みについて深く議論するまでには至らなかった。

また、ディプロマポリシーを実現する教学マネジメントとしての学位プログラムへの理解についても授業内容可視化の理解に留まり、授業科目の調整・統合など踏み込んだ議論が見られなかった。

(2) 今年度の事業計画（分野連携対話集会の進め方）

平成28年度の対話集会の結果及び「私立大学教員の授業改善調査」の結果からは、アクティブ・ラーニングの取り組みは緒についたばかりであり、大半は「個別授業」での「講義との組み合わせ」による「知識の定着・確認」となっている。教員はアクティブ・ラーニングの効果を認めているが、学生は受け身志向であり教員との認識にギャップがあることを踏まえ、本年度は以下の視点を中心に5分野連携による対話集会を展開することにする。

・ ICTを活用した教育改善の在り方の探究

個別授業における工夫・改善を図るため、学生が身につけるべき学力の3要素の向上・発展に効果的な「教育改善モデル」や、ICTを活用した「教育改善の実践事例」を踏まえてアクティブ・ラーニングの教育・学修方法を探求する。

・ 外部評価試験と教育の質保障

私情協が提案している口頭試問等によるICTを活用した外部評価試験の必要性和大学連携コンソーシアムの仕組みについての理解の共有と、教育の質保障を確保するアセスメントモデルの実現に向けた議論を展開する。

・ 学位プログラムへの転換と授業科目の相互改善に結びつける仕組み

授業の可視化、学修成果の可視化など授業情報の共有と、eシラバス、eポートフォリオ活用など授業科目の相互改善に結びつける仕組みについて理解を深める。

(3) 対話集会の進め方

今年度は昨年度より 30 分増やし、話題提供 1 時間半、意見交換 2 時間の 3 時間半で開催する。
話題提供として資料③にある以下の*も参考に本日の合同会議で検討して欲しい

- * ICT を活用した「学力の 3 要素」を高める教育改善モデル
- * ICT を活用した大人数の双方向授業、事前・事後学修、反転授業、地域連携授業などの実践事例
- * モバイルを活用したアクティブ・ラーニング
- * ICT を活用したアクティブ・ラーニング達成度の測定方法
- * e シラバス、e ポートフォリオなどを活用した授業の可視化、学修成果の可視化
- * 授業改善をオープンに議論するポータルサイトの活用など

(4) 意見交流について

話題提供の内容を踏まえ、資料③に例として挙げた以下の*も参考に検討して欲しい。

- ※ 「学力の 3 要素」を高める ICT 活用教育又は双方向授業、事前・事後学修、反転授業、地域連携授業の ICT 活用の効果と課題
- ※ ICT による外部評価試験システムの必要性
- ※ 授業科目の相互改善を促進するオープンな議論の必要性と ICT 活用

意見交流の活性化のため、今年度は教員だけでなく職員や必要に応じて学生の参加を検討する。

「ICT による外部評価試験システムの必要性」については、第 2 回合同会議で検討を行い、意見交流において私情協から説明を行うことを考えている。

活発な意見交流のため参加者全員や学生に発言を求め、参加教員には課題認識の共有化と、気づきの働きかけを行いたい。

(5) スケジュール

第 1 回合同会議 (8 月)

- ・ 話題提供候補の検討
- ・ 意見交流のテーマ検討
- ・ ICT による外部評価試験システムの必要性の検討
- ・ 対話集会の開催日時・場所の検討

第 2 回合同会議 (10 月)

- ・ 開催要項の確定
- ・ 話題提供者の確定
- ・ 意見交流のテーマ確定
- ・ 開催日時・場所の決定
- ・ 運営シナリオの検討と役割分担

対話集会 (12 月)

以上の説明後、各分野ごとに分かれ「教育改善モデル」「実践事例」「話題提供」等について検討がなされた。

2. 話題提供候補の検討

司会の今泉委員から各分野に検討結果を求め、話題提供候補について以下の説明がなされた。

社会福祉学：

- ① 仮題「地域福祉計画策定のための CLL (Community learning Lab) 活動」
皇學館大學 山路克文委員

- ・2年生を対象とする地域連携（伊勢市）によるアクティブ・ラーニング
- ・25 くらいの学生グループが地域に入り、住民から地域の課題をヒアリングしている
- ・LINE を活用し学生同士、地域、行政で情報を共有している

学力の3要素については、社会福祉学での1番のポイントは他者の立場を理解した上で自分の考えを正確に伝える「表現力」と、他者を救うために必要な主体性、多様性、協働性が必要。ただし理屈で教えても身につくものではなく現場体験、しかも1年生2年生の若い時が良い。

社会学：

- ① 「情報の編纂、構造化の学修」（実践女子大学 犬塚潤一郎委員）
 - ・様々な情報へのアクセスは容易だが、得られた情報のまとめ方、読み取り方の習得は重要であり、教育の課題である。
 - ・データをどのようにまとめ、意味・モデルを抽出するかの能力の学習について「概念フレームワーク」「モデル化学習」を例に「構造化」のマインド育成の見地から取り組んでいる。
- ② （仮題）「地域連携におけるアナログ方法とデジタル方法を組み合わせたアクティブ・ラーニング」（大妻女子大学 干川剛史委員）
 - ・地域連携による社会調査の実習では、学生グループに過去の調査結果を共有させ、前年度の調査結果、報告書の発表をやらせみんなて議論し、今年度の調査報告書を設計作成した上で、現地調査、グループで確認しながら報告書作成、発表、学生同士で評価しあう。

教育学：

- ① （仮題）「教育学におけるICTを活用した授業方法の設計、活用、結果と考察」（筑紫女学園大学 竹熊真波委員ほか）
 - ・竹熊委員のアクティブ・ラーニングの取組みをベースに、学力の3要素との関連性を言及
 - ・専門課程である教職課程においてどのように展開しているのかを議論する

統計学：

- ① （仮題）「データを基にして思考力、表現力を培う新しい時代のデータサイエンス教育」（多摩大学 今泉委員ほか）

データを基にして自分の質を自己主張できる思考力、表現力をつける教育。

体育学：

- （中京大学 来田委員、田附委員ほか）
- ① スポーツを通じて社会の課題解決に向き合う取組み
 - ・ICTを活用し、情報の収集整理、共有、コミュニケーションツールとして使うモデル
 - ② 他大学、他分野と連携し、尊重と他者理解を学ぶ
 - ・ICTツールを使い議論することで、遠く離れた場所の人たちが異なる環境の中でコミュニケーションをとる実践的取組み
 - ③ スポーツ推薦制度を基に、学生に大学で学ぶことについて考える
 - ④ ブラック部活問題を題材に人間らしい働き方、健康で健全な人生について考える
- 話題提供については、上記①～④の内容を検討調整し、主体性、多様性、協働性および思考力など、学力の3要素についても検討する。

対話集会では話題提供・事例紹介を題材にして、授業改善モデルの考察や、質保証、評価について議論されるよう検討して欲しい。

今回の合同会議で出された話題提供候補案については次回絞り込み、決定する。

次回の検討に際しては狙う学力の3要素を示し、話題提供の「テーマ」「概要」を簡潔に記入したものを提出していただくこととなった。

【お願い】

話題提供候補については、別紙「話題提供シート書式」にテーマ（1行）、話題提供の概要（3行90文字程度）を記入の上、会議前々日(10/5)迄にご提出ください。

※学力の3要素について、「十分な知識・技術」、批判的・論理的・創造的な「思考力」、合理的な「判断力」、他者の立場を理解した上で自分の考えを正確に伝える「表現力」と「主体性・多様性・協働性」等の中で、狙いとされているものをお示しください。

3. 意見交換のテーマ検討

意見交換のテーマについては、次回話題提供の絞り込みと併せ検討する。

次回(第2回合同会議)は3時間を予定する。

4. 対話集会の開催日時、場所についてはか

5分野の委員に諮った結果

・対話集会は12月16日(土)14時～17時30分（委員事前打合せは13時）

・会場は、早稲田大学を予定することとなった。

次回(第2回合同会議)は、10月7日(土)9:30～12:30 私学会館にて開催することとなった。